【北海道庁から】北海道地域おこし協力隊メールマガジン
北海道　総合政策部　地域創生局　地域政策課
■■　　北海道の地域おこし協力隊の方々にお届けする
■■■■　■　　メールマガジン♪
■■■■■■　　研修会やイベントの開催情報や
■■■■　　全道各地で活躍する地域おこし協力隊の活動状況、
■　■■　　定住・起業の支援情報などを発信します。
****
■目次
【１】西塔さん連載企画～第３回「旅に出る地域おこし協力隊」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）
【２】地域おこし協力隊推進要綱の一部改正と令和３年度地域おこし協力隊の活用状況等について
【３】令和４年度専門実務課程地域おこし協力隊及び集落支援員の初任者研修会が開催されます！
【４】地域おこし協力隊も参加しています！オールほっかいどうチャレンジピッチの動画を公開！
****
【１】西塔さん連載企画～第３回「旅に出る地域おこし協力隊」文 西塔大海さん（さとのば大学講師）

今回は、任期を終え退任される協力隊の方へのメッセージです。

毎年４月になると任期を終えた地域おこし協力隊が、２週間から１ヶ月ほどの旅にでます。地域に定住する人も任務地を離れる人も、いずれも旅にでる場合が多いようです。旅のスタイルはさまざま。実家に帰って休む人、離れていた友人や恋人とゆっくり過ごす人、お世話になった方々をめぐったり、各地で見聞を広める人も。

このタイミングで現場を離れて旅をするのは良いことです。次の仕事へと急ぐ必要はありません。災害ボランティアのためのガイドラインでは、ボランティア活動から日常生活に戻る前には温泉でリフレッシュをすることを薦めています。災害先と自分生活を地続きにさせないための知恵です。また、協力隊の活動ではアドレナリンが出ていますから、興奮状態でもあり、今後の暮らしについても冷静な判断が難しくなります。

この春も 2000 人前後の協力隊が任期を終えられるようです。お疲れ様でした！

みなさんが、おかれた状況の中で懸命に夜も眠らず、いろんなことを犠牲にしながら、地域住民のため、自分の仕事づくりため、家族や仲間のために働かれていていたことを知っています。僕だけでなく、それを知っている人が皆さんの周りには必ずいます。見てくれています。

協力隊の任期を終える時に、満足感や達成感だけで満たされる人はほとんどいません。後悔も、恨みも、謝罪もあるでしょう。誰もが思いを抱えています。

でも、今は少しだけ休みましょう。それだけ頑張ってきたのですから。静かに休むと、青空がひらけてくるかもしれません。次のステージが、さらに素敵なものでありますようにお祈りしております。

＜お知らせ＞

さとのば大学では、来季の６月開講に向けて説明会&模擬講義を 3/29（火）19 時 30 分からオンライン開催します。参加費は無料です。興味のある方は、こちらをご覧ください。

https://peatix.com/event/3197203

■　西塔大海（さいとうもとみ）

合作株式会社取締役　さとのば大学講師

1984 年山形県生まれ。2013 年、福岡県上毛町に移住し地域おこし協力隊として活動。その後、地域おこし協力隊の支援・制度設計の専門家として、全道各地の自治体で導入・活動・起業の支援に携わる。また、各地域での移住促進・空き家活用・人材育成などの地域プロジェクトマネージャーの経験を活かし、提言やアドバイザーを努めている。

〇さとのば大学　https://satonova.org/prospective/

〇西塔さん Facebook　https://www.facebook.com/saito.motomi

【２】地域おこし協力隊推進要綱の一部改正と令和３年度地域おこし協力隊の活用状況等について

地域おこし協力隊推進要綱が３月 16 日付けで一部改正になりました。主な改正点は、①地域おこし協力隊の活動期間（令和元年度から３年度に任用され、新型コロナウイルス感染症の影響により充分な活動を行えなかった隊員が、３年を超えて地域協力活動を行うことを希望し、地方自治体が活動期間の延長を認めた場合は、２年を上限に延長して最長５年とすることができる）②活動費（特別交付税措置について隊員一人につき上限額を 480 万円、うち報償費は上限 280 万円とする）③地域おこし協力隊員等の起業・事業承継に要する経費（特別交付税措置の対象期間を令和３年度に引き続き令和４年度も任期終了の日から起算して前１年以内又は任期終了の日から２年以内とする）となっています。全部で８ページほどですので、ぜひ読んでみて、制度の内容を知っていただければと思います。

また、総務省では令和３年度に活躍した隊員数、受入市町村数、定住状況について調査した結果を公表していますので、併せて読んでみてください！

〇地域おこし協力隊推進要綱
https://www.soumu.go.jp/main_content/000799726.pdf

〇令和３年度における地域おこし協力隊の活用状況等
https://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei08_02000231.html

【３】令和４年度専門実務課程地域おこし協力隊及び集落支援員の初任者研修会が開催されます！

総務省と市町村職員中央研究所では、地域おこし協力隊及び集落支援の初任者を対象に、地域協力活動や集落対策支援の取組を推進するために必要となる知識や実務能力の向上を図るため、初任者研修会を開催します。

会場が千葉県と遠方ですが、興味のある方は、地域おこし協力隊担当者と相談の上、お申し込みください！

〇申込期間：令和４年３月 29 日（火）午前９時～４月 12 日（火）正午まで
〇申込方法：各自治体の担当者から、市町村職員中央研修所に申込書を FAX で送付
（FAX:043-276-8484）
〇開催日時：令和４年５月 16 日（月）～18 日（水）
〇会場：市町村職員中央研修所（千葉県千葉市美浜区浜田１－１）
〇経費：6,200 円（別に食費が必要となります。また、教材用図書費として実費分が必要となる場合があります。）※旅費も別途です
〇問い合わせ先：総務省地域力創造グループ地域自立応援課
TEL：03-5253-5391　URL：https://www.soumu.go.jp

【４】地域おこし協力隊も参加しています！オールほっかいどうチャレンジピッチの動画を公開！

道では、令和４年２月４日（金）に開催した「オールほっかいどうチャレンジピッチ」の動画を北海道のＨＰ上に公開しています！

当日は、地域おこし協力隊の方など、道内各地で広く地域づくりに関わる方々に参加いただき、プレゼンテーションやグループトークを行い、それぞれの取組のレベルアップにつなげました。皆様が取り組む業務のヒントとなるものとなっておりますので、ぜひご覧下さい！

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/all_challenger.html

【オールほっかいどうチャレンジピッチとは？】

北海道には、地域の魅力やポテンシャルを活かし、アイデアを組み合わせて、様々な挑戦をしている・挑戦しようとしている「チャレンジャー」がたくさんいます。道内各地のそうした方々を支援するとともに、活動の推進に資するための業種・地域を越えたネットワークづくりに向け、今年

度、各地域で様々な取組を進めている若者や関係者が参加する「振興局版ほっかいどうチャレンジピッチ」を１４振興局で開催してきました。

この度、各地での開催を踏まえ、道内で広く地域づくりに関わる関係者が参加し、プレゼンやトークイベント、また様々な交流イベントを通じて、多様で広域的な連携や取組のレベルアップにつなげるための「オールほっかいどうチャレンジピッチ」と題した初の全道交流会をオンライン開催しました。

＜お願い＞

北海道地域おこし協力隊メールマガジンでは、市町村、地域おこし協力隊など関係者の皆さんからの掲載記事を募集しています。

道内で活動中の皆さんの取り組み紹介でも構いません。他地域の皆様の取組が情報共有、また様々な連携に繋がっていくものと考えていますので、メールマガジンの積極的な活用をお願いします

掲載を希望される方は、sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp までご連絡ください。

◆発行　　北海道 総合政策部 地域創生局 地域政策課
◆住所　　〒060-8588　札幌市中央区北３条西６丁目
◆電話　　011-204-5791（直通）
◆FAX　　011-232-1053
◆御意見・お問い合わせ（当メールマガジンに関すること）
sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp

◆登録変更、中止、バックナンバーはこちらから
http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/
◆北海道地域おこし協力隊ホームページ
https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/68404.htm

◆このメールマガジンに掲載された記事の無断転載を禁じます。

◆このメールマガジンは等幅フォントで見ることをおすすめします。